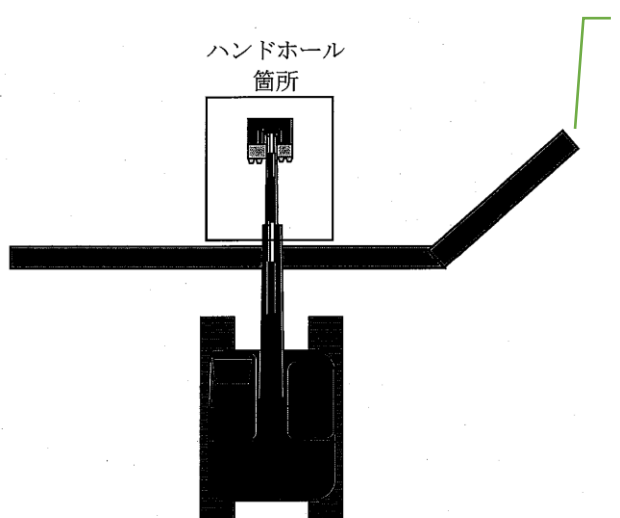
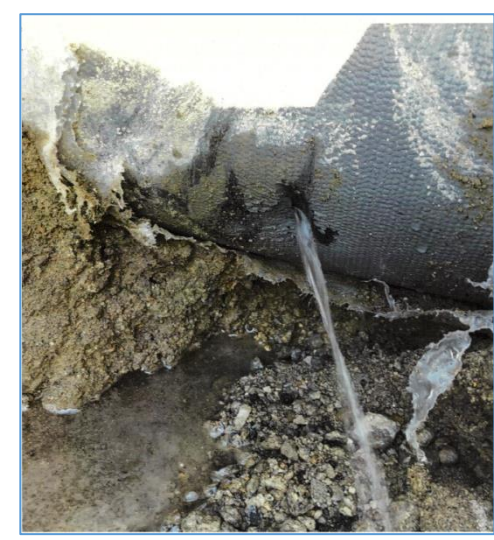


令和5年（暦年）建設工事事故報告書一覧表（1月～12月）

No.	事故発生日	工事区分	事故区分	建設事故内容	発生状況概略図	
5-1	R5. 1. 10	土木	もらい事故	●他企業者によるバックホウ機械掘削中の水道管200mm側面部破損。	PDF	有
5-2	R5. 1. 21	土木	物損公衆災害	●管布設機械掘削中の工食用管末ドレン管50mm破損。	PDF	有
5-3	不明	土木	もらい事故	●水道管布設後、原因者不明による水道管200mm側面部の破損。	PDF	有
5-4	R5. 2. 21	土木	物損公衆災害	●さや管切断中の植木への引火・損傷。	PDF	有
5-5	R5. 2. 27	土木	労働災害	●ブリッジを持った補助員とバックホウが接触し、左足首骨折。	PDF	有
5-6	R5. 4. 5	電気設備	物損公衆災害	●運搬車両がフェンス門扉に接触し破損。	PDF	有
5-7	R5. 4. 11	土木	物損公衆災害	●管布設掘削作業中、既設給水管ソケット継手部の離脱。	PDF	有
5-8	R5. 4. 24	土木	物損公衆災害	●伐採木が水道施設のフェンスに接触し、一部変形損傷。	PDF	有
5-9	R5. 4. 26	土木	労働災害	●足が滑り、掘削した穴へ転落し、足首捻挫。	PDF	有
5-10	R5. 4. 27	土木	物損公衆災害	●管布設後の埋戻し転圧不足による下水取付管破損。	PDF	有
5-11	R5. 5. 2	土木	その他	●運搬車両へバックホウを移動中の横転。	PDF	有
5-12	R5. 6. 8	土木	物損公衆災害	●宅内舗装版切断中のガス引き込み管破損。	PDF	有
5-13	R5. 6. 15	土木	物損公衆災害	●管布設掘削作業中、残置（不要）給水管ソケット継手部の離脱。	PDF	有
5-14	R5. 6. 16	土木	物損公衆災害	●管布設試掘掘削作業中、既設給水管エルボ継手部の離脱。	PDF	有
5-15	R5. 6. 25	土木	物損公衆災害	●給水管取付替えの際、既設給水管止水部からの漏水。	PDF	有
5-16	R5. 6. 28	土木	物損公衆災害	●管布設試掘掘削作業中、既設給水管エルボ継手部の離脱。	PDF	有
5-17	R5. 6. 29	土木	物損公衆災害	●管布設掘削作業中、既設給水管エルボ継手部の離脱。	PDF	有
5-18	R5. 3. 27	土木	物損公衆災害	●埋設物占有者の確認を得ずに一部を取り壊し。無届けでの修理行為が後日発覚。	PDF	有
5-19	R5. 7. 27	土木	労働災害	●熱中症による交通誘導整理員緊急搬送。	PDF	有
5-20	R5. 7. 31	土木	労働災害	●作業員が大型ブロック積擁壁と地山の間に挟まり、骨盤骨折。	PDF	有
5-21	R5. 8. 9	土木	死傷公衆災害 物損公衆災害	●地盤改良工に伴う路面の段差による、車両下部の擦り、むち打ち症状。	PDF	—
5-22	R5. 7. 28	土木	物損公衆災害	●水道管を撤去する際に、上部に埋設されていた下水取付管破損。	PDF	有

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-1	事故分類	もらい事故	
被災内容	配水管 200 mm GXPEDCP	工事区分（工種）	他企業（電線管布設工事）	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年1月10日	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>他企業者による電線管布設工事（電気ハンドホール箇所）を機械掘削中に、布設した水道管（配水管 200 mm GXPEDCP）の側面部をバックホウの爪で破損。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">※ 土中部にソイルの様なもので固められた跡あり。</p>				
要 因	人 的	もらい事故のため、記載なし。		
	物 的	もらい事故のため、記載なし。		
	管理的	もらい事故のため、記載なし。		
原 因	他企業の作業者が、正確な水道管の位置を把握せず、無理にバックホウで掘削したため。			対 策
				同ヤード内で作業を行っている業者と協議・打合せを続けながら安全に施工していろう。

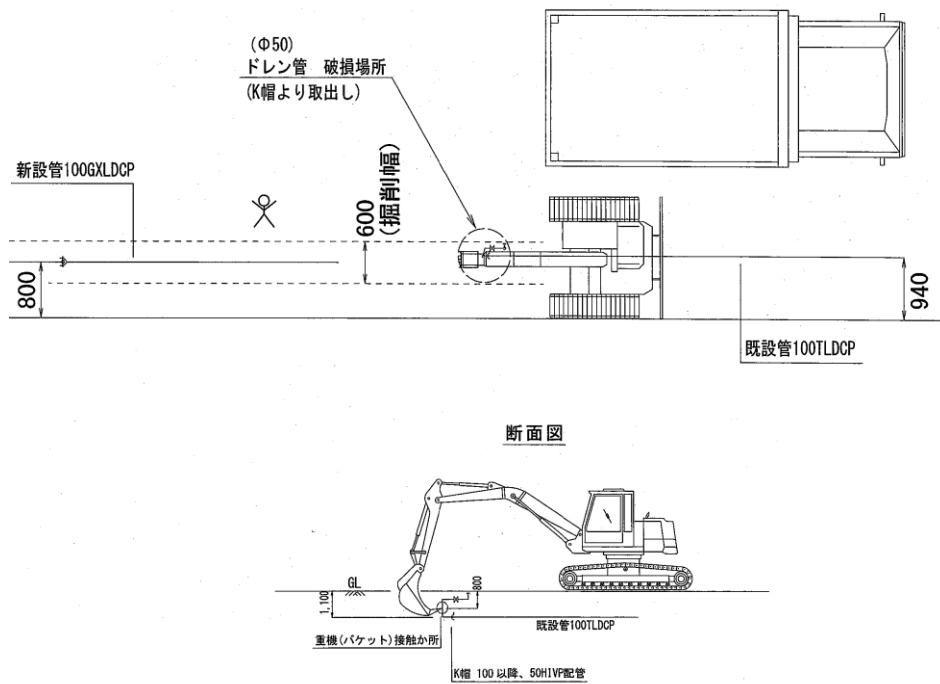
発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-2	事故分類	物損公衆災害
被災内容	工所用管末ドレン管 50 mm HIVP 破損	工事区分（工種）	管布設工 100 mm GXLDGP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年1月21日

〔事故の概要〕

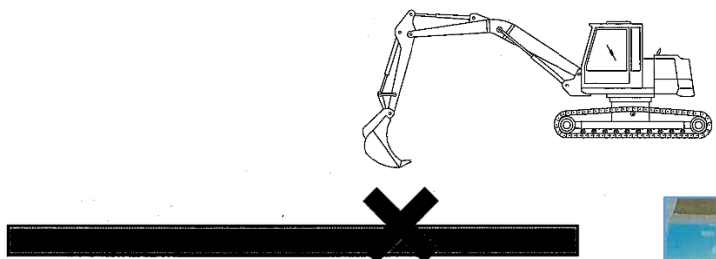

管布設（100 mm GXLDGP）機械掘削中に、工所用管末ドレン管（50 mm HIVP）を破損。

〔状況図〕

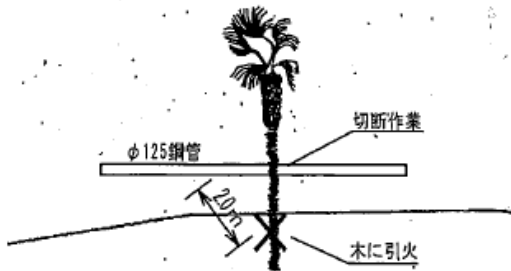

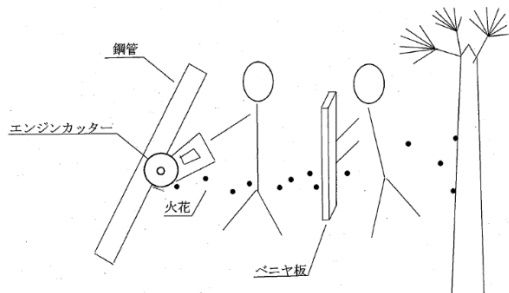


要 因	人 的	埋設管の確認不足。	対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段階確認の再徹底を作業従事者が全員で行うこと。 ・ 大丈夫であろう！ではなく、確実に目視確認を行い安全対策をした後、作業にかかることの徹底。
	物 的	記載なし。		
	管理的	段階確認の不足。		
原 因	ドレン管を露出せずに不用意に機械掘削を行ったこと。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-3	事故分類	もらい事故	
被災内容	配水管 200 mm GXPEDCP 破損	工事区分（工種）	管布設工 200GXPEDCP	
職 種	土木	発 生 年 月 日	不明	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>水道管（配水管 200 mm GXPEDCP）布設後、水圧テストを行ったところ、水圧低下がおさまらなかつたため、調査堀による漏水調査をした結果、布設した水道管側面部の損傷を発見。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-left: 100px;"> 配水管 200 mm GXPEDCP </div>  </div>				
要 因	人 的	もらい事故のため、記載なし。		
	物 的	もらい事故のため、記載なし。		
	管理的	もらい事故のため、記載なし。		
原 因	原因者、発生日、詳細は不明			対 策
				同ヤード内で作業を行っている業者と協議・打合せを続けながら安全に施工していろう。

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-4	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	樹木引火損傷	工事区分（工種）	管布設工 50HPPE	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年2月21日	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>添架部に設置するさや管（鋼管）をエンジンカッターで切断中に火花が樹木（庭木）に飛び火し引火損傷。</p>				
<p>〔状況〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 20px;">  </div>				
要 因	人 的	周囲にある燃えやすい物の確認不足。		
	物 的	燃えやすい物との距離の確認不足。		
	管理的	防火シート等の設置不足。		
原 因	防火シート等の設置忘れ、燃えやすい物との距離の確保不足。			
		対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の安全をよく確認して、防火シート等を必ず設置する。 ・損傷の恐れのある物との安全距離を確保する。 	

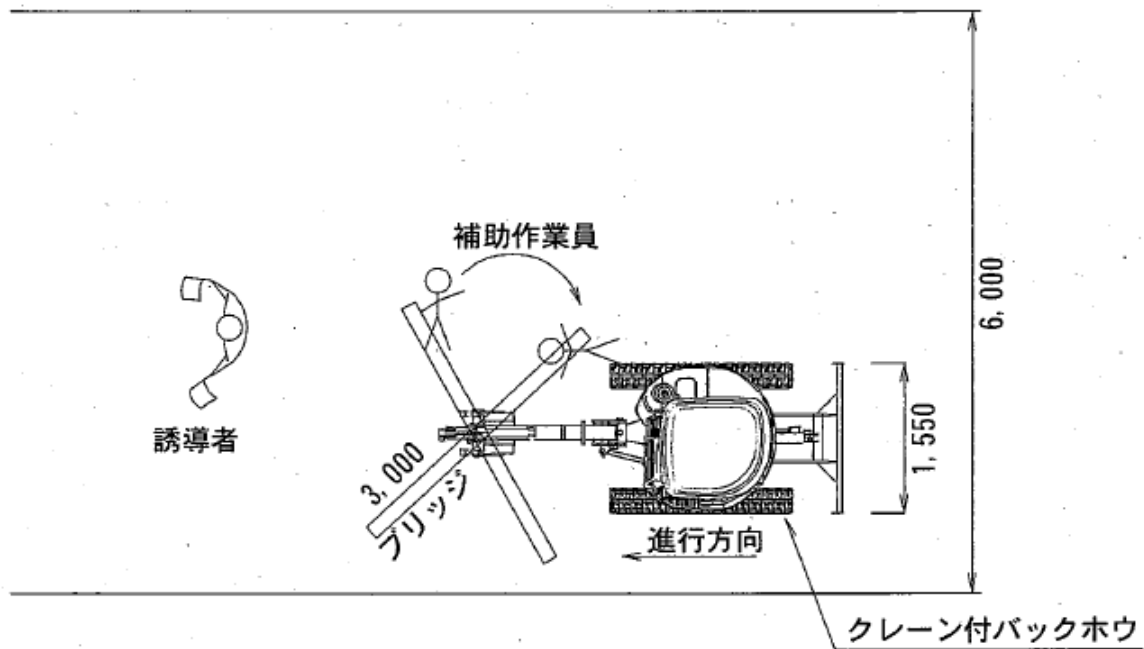
発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-5	事故分類	労働災害
被災内容	作業員の左足首骨折	工事区分（工種）	管布設工 100GXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年2月27日

〔事故の概要〕

後片付け作業中、クレーン付きバックホウで積込用ブリッジを吊り誘導者を配置して緩やかな上り坂を移動中に、補助としてブリッジを持っていた作業員がよろめき誤ってバックホウの旋回範囲内に入り前進中のバックホウと接触し左足首骨折。

〔状況図〕



要因	人的	作業員がよろめきオペレーターからよく見える位置にいなかった。	対策	<ul style="list-style-type: none"> バックホウを移動させるのではなく、積み荷まで車両を移動し、積み込むことを優先する。 作業員はオペレーターの死角（バックホウの旋回範囲内）に入らない。 オペレーター、誘導者及び作業員の合図等、確認の徹底。
	物的	記載なし。		
	管理的	ブリッジを吊ってバックホウを移動させた。		
原因	作業員がよろめきバックホウの旋回範囲内に入りオペレーターから見える位置にいなかったこと。誘導者の合図が間に合わなかったこと。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-6	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	フェンス門扉損傷	工事区分（工種）	撤去運搬	
職 種	電気設備	発 生 年 月 日	令和5年4月5日	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>運搬車両がポンプ所を退場する際に、フェンス門扉に接触し破損。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>				
要 因	人 的	運搬車両のサイズとポンプ所入り口の幅の認識不足。		
	物 的	運搬車両に対しポンプ所フェンス門扉が狭いため。		
	管理的	目視しやすいようにしていたが、誘導等の指示不足。		
原 因	運転手による確認不足及び誘導等の指示不足。			
		対 策	運搬車両入退時は、フェンス門扉や建屋等に接触しないように、運転手と誘導する作業員に細心の注意を払うように指示する。	

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-7	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	給水管破損		工事区分（工種）	管布設工 75GXPEDCP
職 種	土木		発 生 年 月 日	令和5年4月11日
<p>〔事故の概要〕</p> <p>管布設（配水管 75 mm GXPEDCP）手掘り掘削中に、既設給水管（25 mm VP）の土圧がなくなり、ソケット継手部の離脱。</p>				
<p>〔状況図〕</p>				
要 因	人 的	記載なし。		対 策
	物 的	既設給水管ソケット部の糊付け不足		
	管理的	記載なし。		
原 因	既設給水管ソケット部の糊付けが不十分であったため。			給水管の確認は、必ず手掘りで行う。

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-8	事故分類	物損公衆災害
被災内容	フェンス損傷	工事区分（工種）	伐採
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年4月24日

〔事故の概要〕

法面の伐採作業中に、伐採木が水道施設のフェンスに接触し、一部変形し損傷。

〔状況図〕



要 因	人 的	倒木後に反転することを想定できなかった。	対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 倒木位置の状況変化による準備工を徹底する。 ・ 枝打ちに対する作業を怠らない。
	物 的	倒木位置の法面が急勾配であった。		
	管理的	滑り止めロープの数や取り位置を確認すべきであった。		
原 因	高木の枝打ちの範囲に対する配慮が不足していた。			

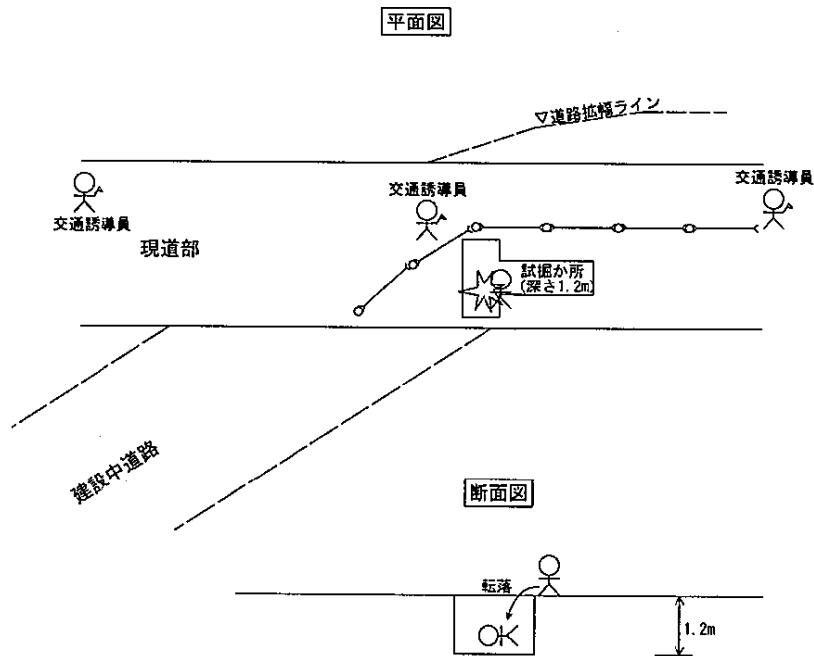
発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-9	事故分類	労働災害
被災内容	作業員の足首捻挫	工事区分（工種）	試掘工
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年4月26日

〔事故の概要〕

試掘作業中に、不注意で足が滑り掘削した穴へ落下し足首捻挫。

〔状況図〕



要 因	人 的	足元の確認不足。	対 策	掘削か所周辺では、足元の確認を十分に行う。
	物 的	記載なし。		
	管理的	記載なし。		
原 因	足元の確認不足。			

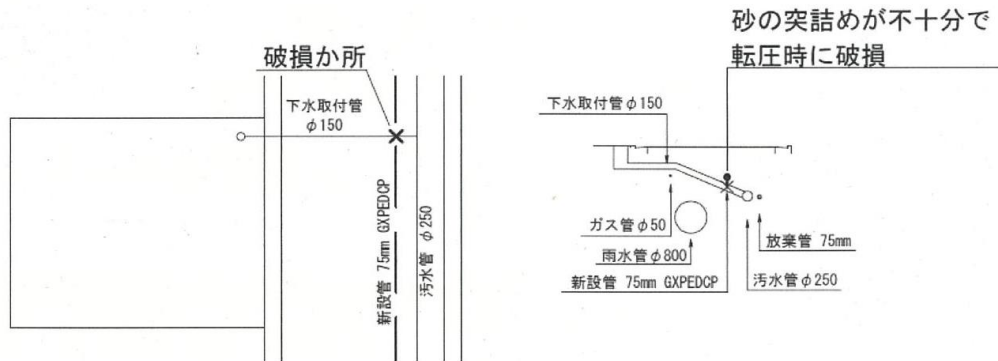
発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-10	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	下水取付管破損	工事区分（工種）	管布設工 75GXPEDCP	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年4月27日	

〔事故の概要〕

管布設（75 mm GXPEDCP）後の転圧（突詰め）不足による下水取付管を破損。

〔状況図〕



仮復旧状況



本復旧状況





要 因	人 的	転圧時の注意不足。	対 策	地下埋設物との離隔を十分に確保するとともに、砂の突詰めを十分に行い、埋戻し及び転圧時によく確認し作業する。
	物 的	記載なし。		
	管理的	管まわりの突詰め不足。		
原 因	水道本管と下水取付管の離隔が十分に確保できていない中、砂の突詰めが不十分であった。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-11	事故分類	その他
被災内容	建設機械横転	工事区分（工種）	支給材料受領(運搬工)
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年5月2日
<p>〔事故の概要〕</p> <p>千田材料置場にて支給材料を受領後、運搬車両へバックホウを移動中、バックホウが横転。</p>			
<p>〔状況図〕</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			
要 因	人 的	重機積込時に、安易にできると決めつけていた。	対 策
	物 的	記載なし。	
	管理的	段階確認・周囲の確認不足。	
原 因	作業従事者の確認不足及び自己判断の甘さにより発生。		<ul style="list-style-type: none"> ・始業前ミーティングにおいて、重機搬入時、荷下ろし作業の安全対策の徹底。 ・重機荷下ろしは足場の利用

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-12	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	ガス引き込み管	工事区分（工種）	給水管工	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年6月8日	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>給水管取付替えのため、駐車場のコンクリート舗装版（$t \approx 10\text{cm}$）を切断中に埋設深さ 6cm にあったガス引き込み管（25mmSP）を破損。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>平面図</p> <p>ガス管切断か所 駐車場</p> <p>新設ガス 75 CPEDCP</p> <p>Gφ25</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>断面図</p> <p>GL</p> <p>60</p> <p>コンクリート</p> <p>100</p> <p>Gφ25</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>				
要 因	人 的	埋設管土被りの浅さを予測できなかった。	対 策	現地調査を入念に行い、埋設状況の確認を徹底してから慎重に作業を行う。
	物 的	記載なし。		
管理的	現地調査不足。			
原 因	ガス引き込み管の土被りが 6cm と非常に浅く、舗装の厚みの 10cm 程度、深く刃を入れ切断したため。			

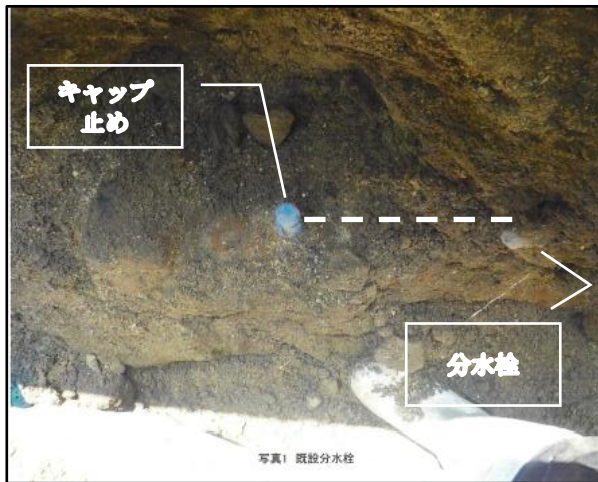
発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-13	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	管布設工 100mmGXLDCP	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年6月15日	

〔事故の概要〕

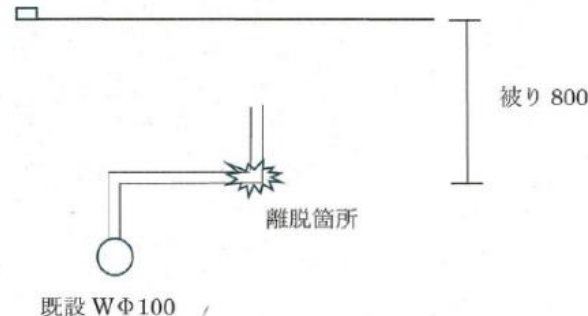
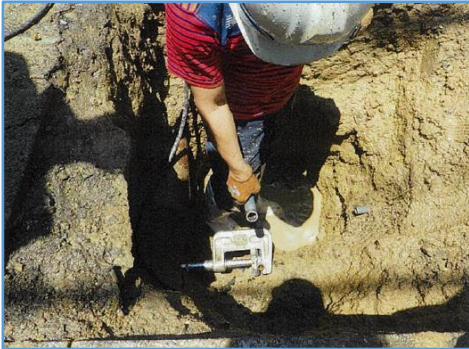
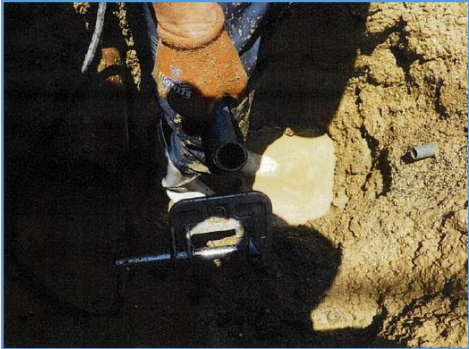
管布設（100mmGXLDCP）人力掘削中に、残置（不要）給水管ソケット継手部の離脱。

〔状況図〕



要 因	人 的	記載なし。	対 策	必要以上に埋設物を露出させない。
	物 的	記載なし。		
	管理的	記載なし。		
原 因	経年劣化により微細な亀裂が入っていた残置（不要）給水管が、人力掘削による振動及び土圧の減少により亀裂が拡大し破損した。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-14	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	試掘工	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年6月16日	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>管布設（100mmGXPEDCP）試掘掘削中に、既設給水管(20mmHIVP)の土圧がなくなり、エルボ継手部の離脱。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>				
要 因	人 的	記載なし。		
	物 的	記載なし。		
	管理的	記載なし。		
原 因	既設給水管の糊付けが不十分であったことに併せ、掘削により土圧が無くなったこと。			対 策
				必要以上に埋設物を露出させない。

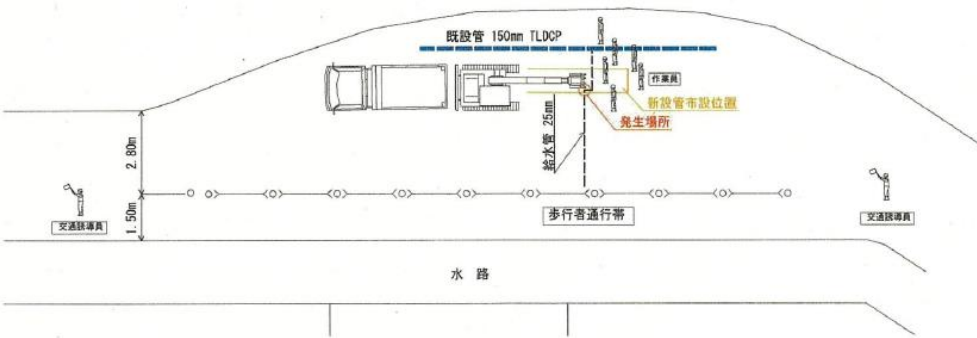
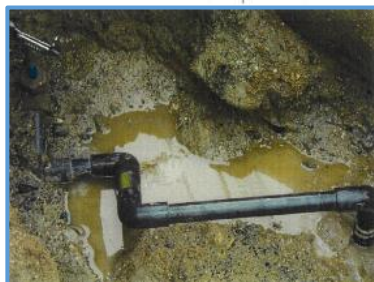

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-15	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	管布設工 150mmGXPEDCP	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年6月25日	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>管布設（150mmGXPEDCP）給水管取付替えの際に、既設給水管をパイプ断水器で止水。後日、パイプ断水器締め部から漏水が発生。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>到着時</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>漏水状況</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>修理完了</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> </div>				
要 因	人 的	既設給水管の栓止め処理のみで施工したこと。		
	物 的	パイプ断水器の圧力を必要以上に加えたこと。		
	管理的	「栓止め」か「分水栓の閉塞」かの指示不足。		
原 因	パイプ断水器により加圧した所の管圧が薄くなり漏水。			<p>対 策</p> <p>分水栓の閉塞と栓止め処理を行う。</p>



発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-16	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	給水管破損		工事区分（工種）	試掘工
職 種	土木		発 生 年 月 日	令和5年6月28日
<p>〔事故の概要〕</p> <p>管布設（100mmGXPEDCP）試掘掘削中に、既設給水管(25mmHIVP)の土圧がなくなり、エルボ継手部の離脱。</p>				
<p>〔状況図〕</p>				
要 因	人 的	記載なし。		
	物 的	記載なし。		
	管理的	記載なし。		
原 因	既設給水管の糊付けが不十分であったことに併せ、掘削により土圧が無くなったこと。			<p>対 策</p> <p>必要以上に埋設物を露出させない。</p>

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-17	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	管布設工 150mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年6月29日
<p>〔事故の概要〕</p> <p>管布設（150mmGXPEDCP）人力掘削中に、既設給水管（25mm HIVP）の土圧がなくなり、エルボ継手部の離脱。</p>			
<p>〔状況図〕</p> <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: center;">水路</p> <p style="text-align: center;">お好み焼き</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> </div>			
要 因	人 的	記載なし。	対 策
	物 的	既設エルボ部の糊付けが不十分。	
	管理的	記載なし。	
原 因	<ul style="list-style-type: none"> ・掘削中に給水管に対する土圧がなくなったこと。 ・既設エルボ部の糊付けが不十分であったこと。 		<p>今後も、埋設物の確認、埋設物付近での人力掘削を行い、破損しないように気を付ける。</p>

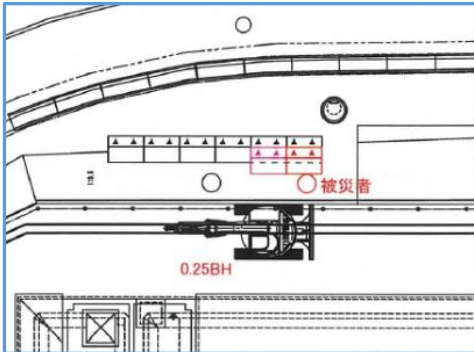
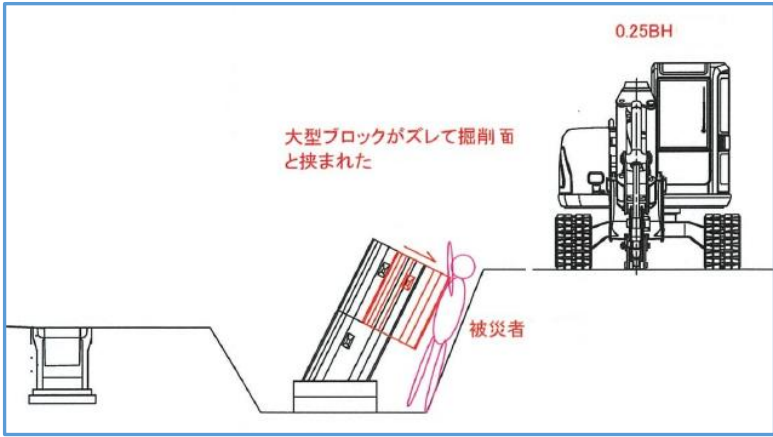

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-18	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	下水管破損	工事区分（工種）	管布設工 75mmGXPEDCP	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年3月27日	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>管布設（75 mm GXPEDCP）中に、不明管と思い込み、占有者の確認を得ず、取り壊したが下水管φ300と判明し、無届かつφ200で補修していたことが約4か月後に発覚した。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>				
要 因	人 的	独自の判断で撤去作業を行った。		
	物 的	記載なし。		
	管理的	不明管発見時、監督員への報告をしなかった。		
原 因	不明管の発見時に、監督員への報告を怠ったこと。 占有者への確認不足。			
	対 策	事前調査の徹底。 不明管の発見時には、監督員への報告を行う。 各占有者への連絡・確認の徹底。		

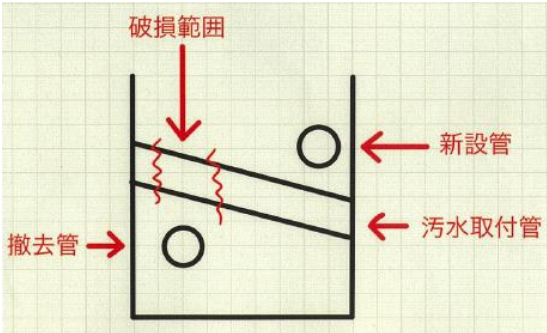

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-19	事故分類	労働災害
被災内容	熱中症	工事区分（工種）	給水管取付替工・撤去工
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年7月27日
<p>〔事故の概要〕</p> <p>8時30分から交通規制の準備を始め、11時過ぎに交通誘導整理員が体調を崩した。介護していたが回復が見込めず、緊急搬送を要請した。</p>			
<p>〔状況図〕</p> <p style="text-align: center; margin-top: 100px;">状況図記載なし</p>			
要 因	人 的	記載なし。	対 策
	物 的	記載なし。	
	管理的	被災者と他の交通誘導整理員との連絡不足。	
原 因	気温 34 度前後の中、十分な休憩及び水分補給を行わなかったため、体調不良になったと考えられる。		体調不良にならないように、こまめな休憩及び水分・塩分の補給を徹底する。 誘導警備会社は、現場に熱中症キット（体を冷やすタオルや塩分タブレット）を常備し、社員の熱中症対策を実施する。

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-20	事故分類	労働災害
被災内容	骨盤部複数箇所骨折	工事区分（工種）	大型ブロック積擁壁工
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年7月31日
<p>〔事故の概要〕</p> <p>大型ブロック積擁壁（2段目）設置作業中、微調整のため2段目2個目を吊り上げた際に、1個目のブロックが共上がりしてズレが生じ、背面側にいた作業員が大型ブロックと地山の間に挟まれた。</p>			
<p>〔状況図〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>0.25BH</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>0.25BH</p> <p>大型ブロックがズれて掘削面と挟まれた</p> <p>被災者</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>			
要 因	人 的	10 個程度ブロックを設置した状況で共上がりする認識がなかった。	対 策
	物 的	転倒防止処置ができていなかった。	
管理的	転倒防止の実施時期、場所、方法が明確でなかった。		
原 因	転倒防止措置が取られていないブロック背面に立ち入った。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各ブロックに転倒防止及びズレ止め処置を実施する。 ・ 転倒防止及びズレ止め処置ができていないブロック背面への立ち入り禁止。 ・ 微調整時、吊り上げる時は一旦、回避しブロックが安定している事を確認し作業を行う。 ・ 職員、職長による確認の厳守。

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-22	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	下水取付管破損	工事区分（工種）	管撤去工 150mmTLDCP	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年7月28日	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>管撤去工（150mmTLDCP）において、通常の機械掘削中に下水取付管を破損。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>				
要 因	人 的	埋設物の確認不足。	対 策	埋設物確認の徹底。
	物 的	記載なし。		
	管理的	埋設物の確認不足。		
原 因	埋設物の確認不足により、掘削中に重機で破損したと思われる。			

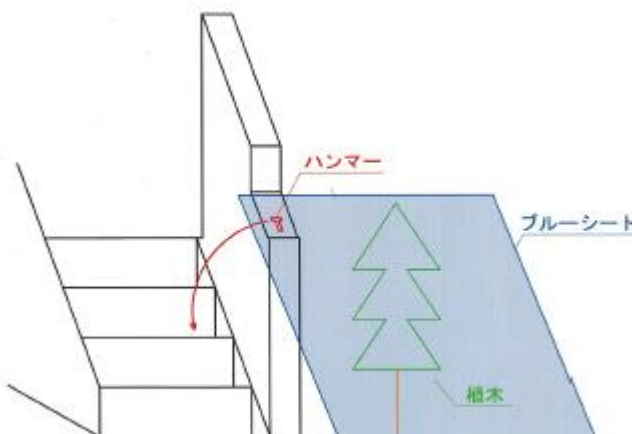
発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-23	事故分類	物損公衆災害
被災内容	宅内タイル破損	工事区分（工種）	給水管工
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年7月24日

〔事故の概要〕

給水管取付替えの施工の際、植木に養生ブルーシートを掛け、石頭ハンマーを重しとして使用していたところ、強風により重しが隣の階段タイルに落下し、タイルを破損。

〔状況図〕

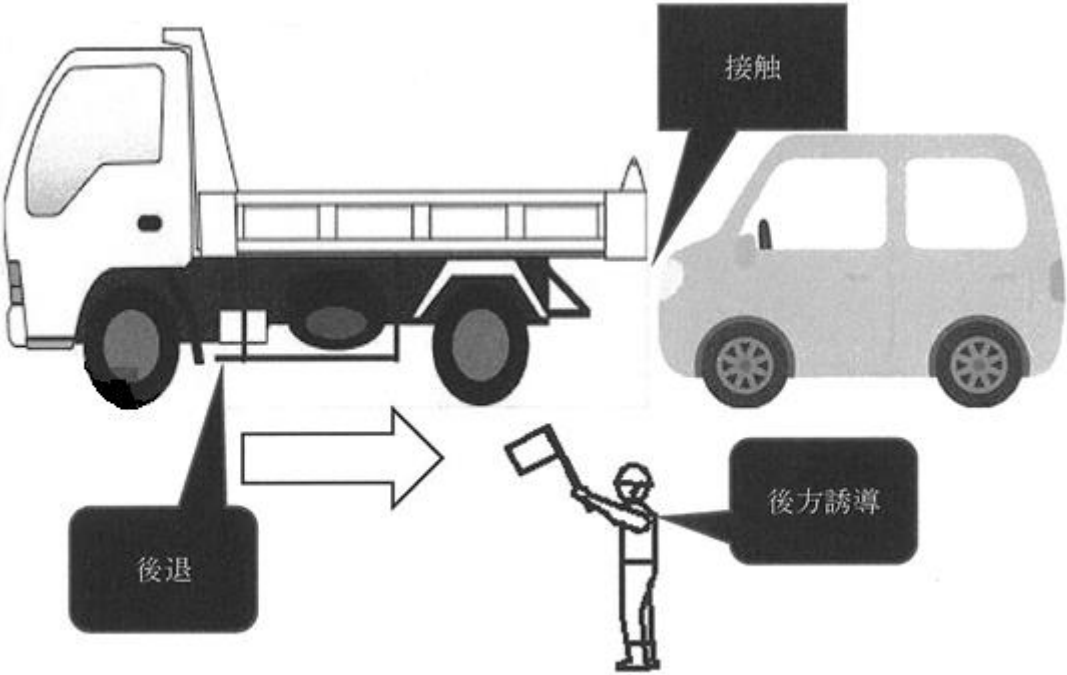


要 因	人 的	養生ブルーシートの重しに石頭ハンマーを選択したこと。	対 策	養生ブルーシートを設置する際は、ロープ等で固定するよう徹底する。
	物 的	記載なし。		
	管理的	記載なし。		
原 因	養生ブルーシートを安易な重しで固定したこと。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-24	事故分類	死傷公衆災害	
被災内容	住民転倒打撲		工事区分（工種）	舗装工
職 種	土木		発 生 年 月 日	令和5年8月25日
<p>〔事故の概要〕</p> <p>舗装工において、雨水枡へ水が流れるよう施工し、工事を完了していたが、雨水枡まわりの舗装仕上げに躓き、住民が転倒した。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>				
要 因	人 的	記載なし。		
	物 的	記載なし。		
	管理的	家の出入口にあたり、住人への説明・確認不足。		
原 因	施工前、施工後に住民への説明や確認が不十分であった。			対 策
				家の出入口付近の舗装（施工）は、施工前に施工内容の説明・確認を行う。

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-25	事故分類	物損公衆災害
被災内容	車両接触事故	工事区分（工種）	管布設工 150GXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年9月12日
<p>〔事故の概要〕</p> <p>工事規制内において、交通整理員の誘導により作業車両を後退する際に、止めてあった工事関係車両に接触した。</p>			
<p>〔状況図〕</p> 			
要 因	人 的	運転者の注意不足。	
	物 的	記載なし。	
	管理的	記載なし。	
原 因	交通整理員の誘導でダンプカーを後退していたが、一般車両の誘導と同時期になり、運転者が停止の合図を見落としたこと。		対 策
			<p>誘導の有無にかかわらず運転者が自らも対人、対物との接触の可能性を予測しながら安全の確認を徹底して行い、交通整理員と運転者の双方がさらに密となり事故防止に取り組む。</p>

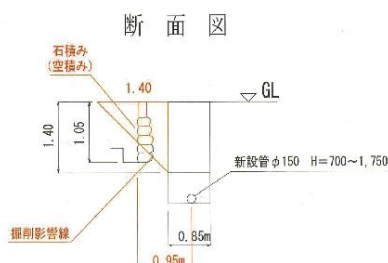
発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-26	事故分類	物損公衆災害
被災内容	石積み擁壁崩落	工事区分（工種）	管布設工 150mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年9月14日

〔事故の概要〕

配水管 150mm の横断水路を伏せ越すため、掘削していたところ石積み擁壁が崩落した。

〔状況図〕



要 因	人 的	記載なし。	対 策	地山に影響しやすい状況かどうかの早期の判断や早めの対策を行う。
	物 的	空積みの石積み擁壁		
	管理的	記載なし。		
原 因	石積み擁壁が結果的に空積みだった事。掘削場所には大きな石が多く、早めの矢板設置を検討したが、間に合わなかった。			

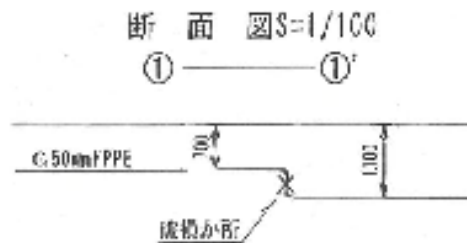
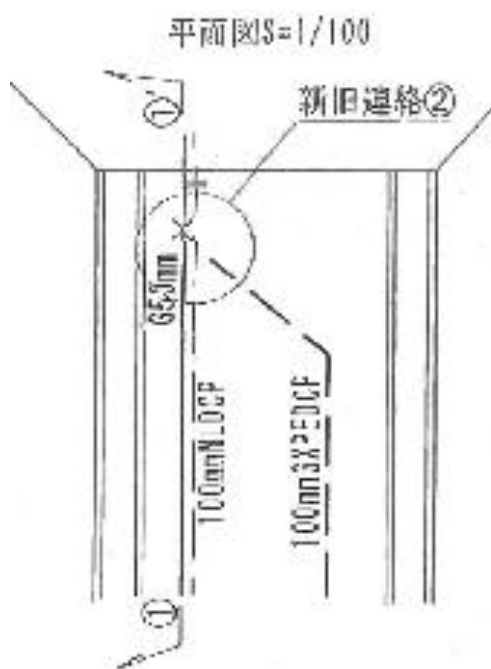
発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-29	事故分類	物損公衆災害
被災内容	ガス管破損	工事区分（工種）	管布設工 100GXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年10月2日

〔事故の概要〕

新旧管連絡のため、手掘りでガス管の位置を確認後、人力と機械力併用で掘削中に、ガス管の立ち上がり配管に気づかず、バックホウの爪が接触しガス管φ50を破損した。

〔状況図〕



要 因	人 的	ガス管の立ち上がり部分の確認不足。	対 策	埋設物を確認後、周囲を掘削する際は、埋設物に注意して掘削する。
	物 的	記載なし。		
	管理的	記載なし。		
原 因	ガス管の位置は確認していたが、立ち上がり部分の確認をよくしなかった。			

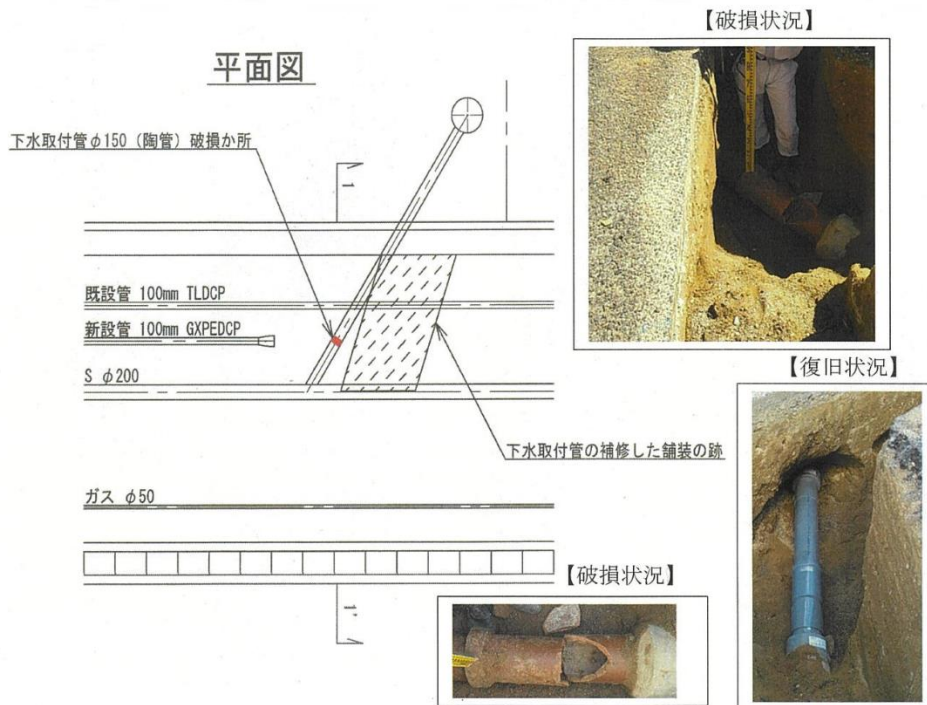
発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-30	事故分類	物損公衆災害
被災内容	下水取付管破損	工事区分（工種）	管布設工 100GXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年10月12日

〔事故の概要〕

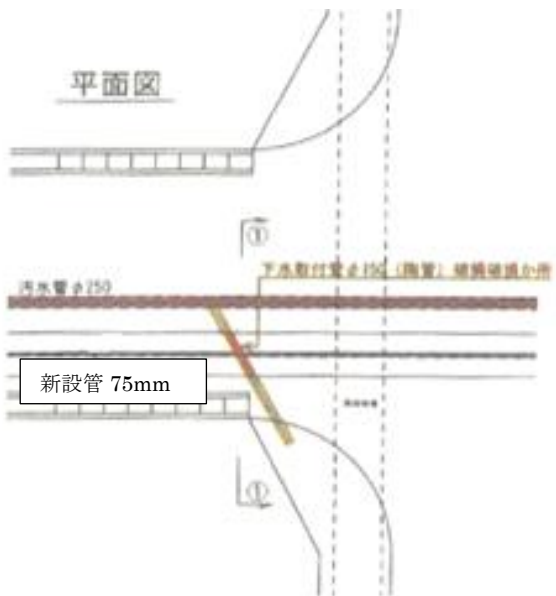
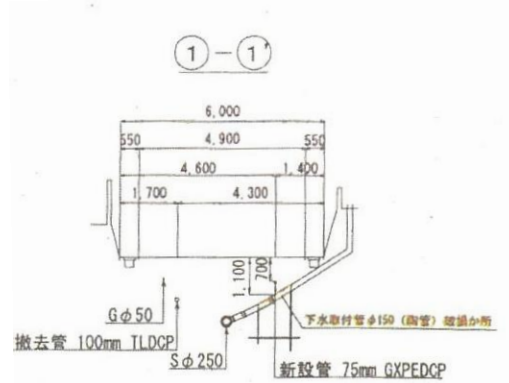
前日に布設が終わった場所を人力と機械力併用で継手箇所を掘削中に、下水取付管φ150（陶管）を破損した。

〔状況図〕



要 因	人 的	埋設物の確認不足。	対 策	埋設物の調査・確認の徹底。
	物 的	記載なし。		
	管理的	埋設物の調査不足。		
原 因	埋設物の調査不足、確認不足。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	5-32	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	下水取付管破損	工事区分（工種）	管布設工 75GXPEDCP	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和5年11月20日	
<p>〔事故の概要〕</p> <p>下水道任意図を作業前に確認後、人力と機械力併用で掘削中に、下水取付管φ150（陶管）を破損した。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>				
要 因	人 的	埋設物の注意（確認）不足。		
	物 的	記載なし。		
	管理的	埋設物の注意（調査）不足。		
原 因	埋設物の注意（調査）不足により、バックホーで破損した。			<p style="text-align: center;">対 策</p> <p>下水道任意図に記載していないか所でも、掘削中に注意を払い、確認の徹底。</p>